



2006年12月期決算説明会

アライドテレシスホールディングス株式会社
(東証2部:証券コード6835)

2007年2月26日

連結決算のサマリー

(単位:百万円、切捨て)	2005年12月期		2006年12月期		前年比		(参考) 当初計画	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	増減率	金額	百分比
売上高	54,554	100.0%	52,729	100.0%	▲1,825	▲3.3%	70,500	100.0%
営業利益	12	0.02%	▲3,385	▲6.4%	▲3,397	▲28187%	2,056	2.9%
経常利益	1,024	1.9%	▲3,345	▲6.3%	▲4,369	▲426.5%	1,337	1.9%
純利益	▲31	▲0.06%	▲8,075	▲15.3%	▲8,044	25678%	572	0.8%

売上高ポイント

- 売上高は527億円と前年比で18億円(3.3%)減少、当初計画より178億円(25.2%)減少

営業利益ポイント

- RoHS基準に準拠した部品調達への切り替えなどにより、売上原価率が57.1%に上昇(前年54.1%)
- IPTリプルプレイへの継続的研究開発費を投下、また、各種報酬手当の増加や欧米リストラ費用などにより販管費の増加(前年比10億円増)

純利益ポイント

- 米国子会社株式(ATI)の評価引当金計上により、連結調整勘定の一括償却を行い、特別損失に計上(10億円)
- 投資有価証券評価損および固定資産除却損など特別損失に計上(9億円)
- 繰延税金資産の減損を実施(29億円)

連結損益計算書

(単位: 百万円、切捨て)	2005年12月期		2006年12月期		前年比	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	増減率
売上高	54,554	100.0%	52,729	100.0%	▲1,825	▲3.3%
売上原価	29,518	54.1%	30,096	57.1%	577	2.0%
売上総利益	25,036	45.9%	22,633	42.9%	▲2,402	▲9.6%
販売費及び一般管理費	25,024	45.9%	26,019	49.3%	995	4.0%
営業利益(損失)	12	0.02%	▲3,385	▲6.4%	▲3,397	▲28187%
営業外収益	1,473	2.7%	493	0.9%	▲979	▲66.5%
営業外費用	461	0.8%	453	0.8%	▲8	▲1.7%
経常利益(損失)	1,024	1.9%	▲3,345	▲6.3%	▲4,369	▲426.5%
特別利益	47	0.1%	70	0.1%	22	47.7%
特別損失	83	0.2%	1,904	3.6%	1,821	2193.4%
税引前純利益(純損失)	989	1.8%	▲5,179	▲9.8%	▲6,168	▲623.5%
法人税等	1,472	2.7%	3,219	6.1%	1,746	118.6%
少数株主利益又は損失	▲452	▲0.8%	▲322	▲0.6%	129	▲28.7%
純利益(純損失)	▲31	▲0.06%	▲8,075	▲15.3%	▲8,044	25678%

◆ 営業外費用の内訳

支払利息	316,540千円
為替予約評価損	13,397千円
貸倒引当金繰入額	12,383千円
持分法による投資損失	23,015千円
シンジケートローン手数料	10,270千円
その他	77,699千円

◆ 特別損失の内訳

固定資産売却損	275千円
固定資産除却損	409,105千円
投資有価証券評価損	285,449千円
のれん償却費	1,013,154千円
その他	196,523千円

地域別・事業別の売上高

(単位:百万円)

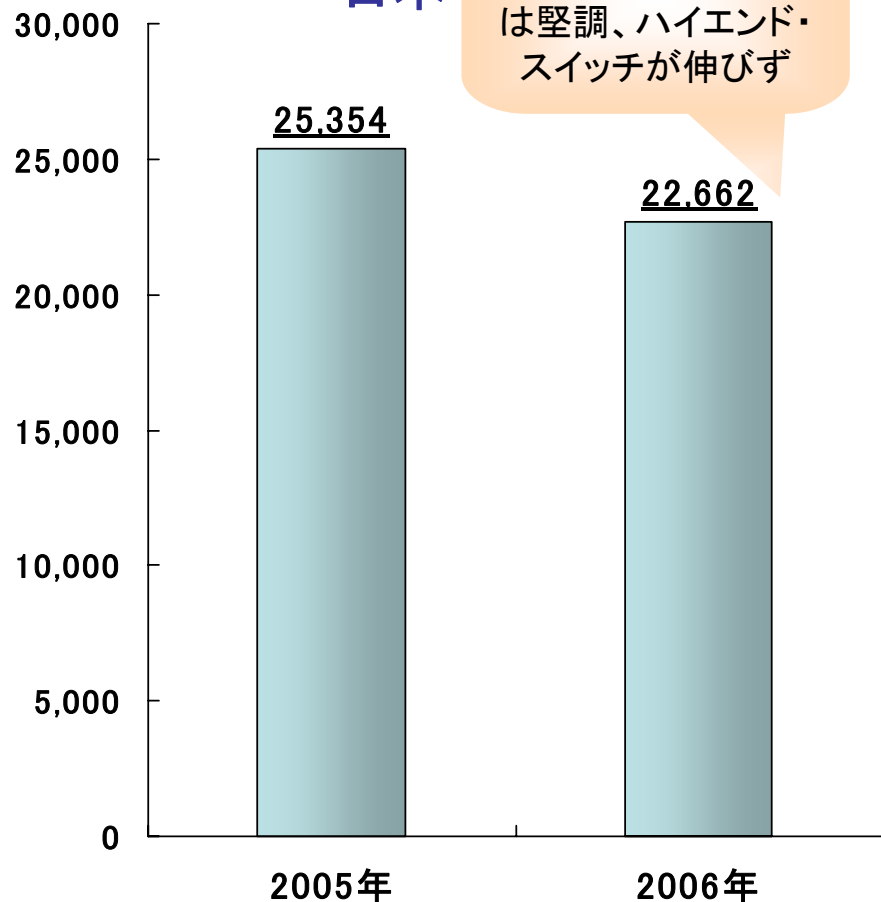
	日本 (コレガ含む)		米国		欧州		アジア(日本以外) オセアニア		合計	
	2005年	2006年	2005年	2006年	2005年	2006年	2005年	2006年	2005年	2006年
売上高	32,578	28,737	8,436	9,120	11,452	12,405	2,088	2,466	54,554	52,729
ネットワーク 機器	32,578	28,519	6,446	6,473	10,053	9,920	2,088	2,466	51,165	47,378
IPトリプルプレイ (構成比)	0 (0.0%)	218 (0.8%)	1,990 (23.6%)	2,647 (29.0%)	1,399 (12.2%)	2,485 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3,389 (6.2%)	5,350 (10.1%)

地域別概況と売上高

(単位:百万円)

日本

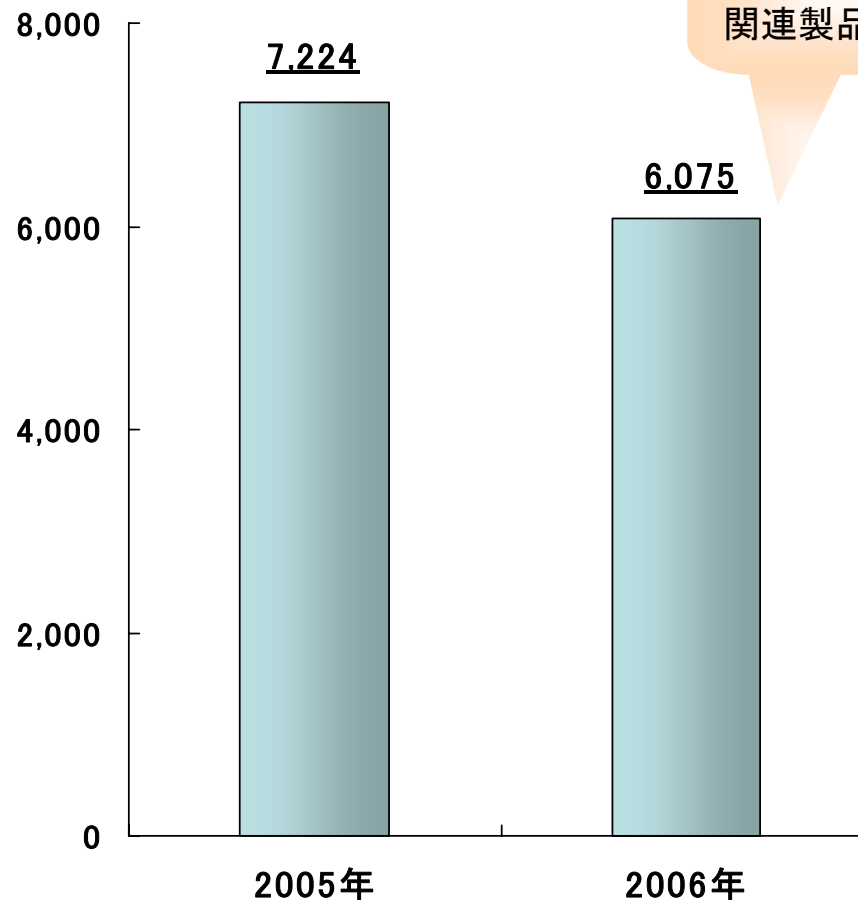
メディアコンバータ、ローエンド・スイッチは堅調、ハイエンド・スイッチが伸びず



(単位:百万円)

コレガ

法人向けは伸長したが、主力の無線関連製品が伸びず



地域別概況と売上高

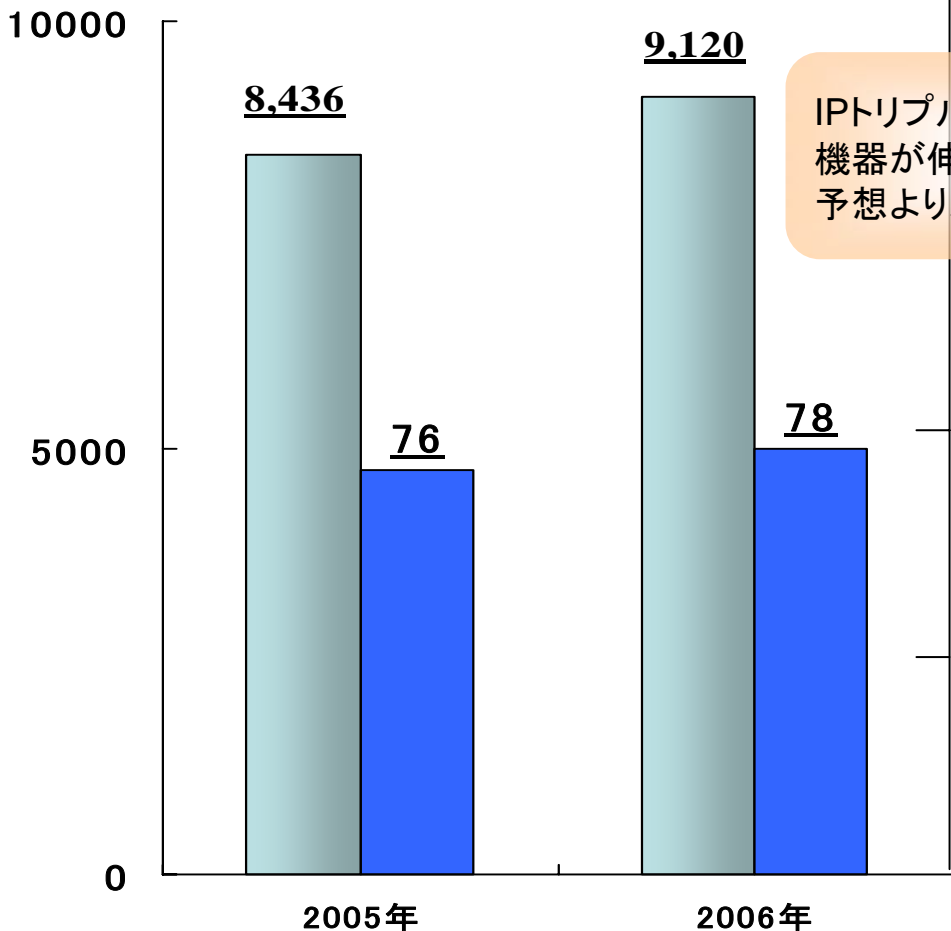
(単位:百万円)

米国

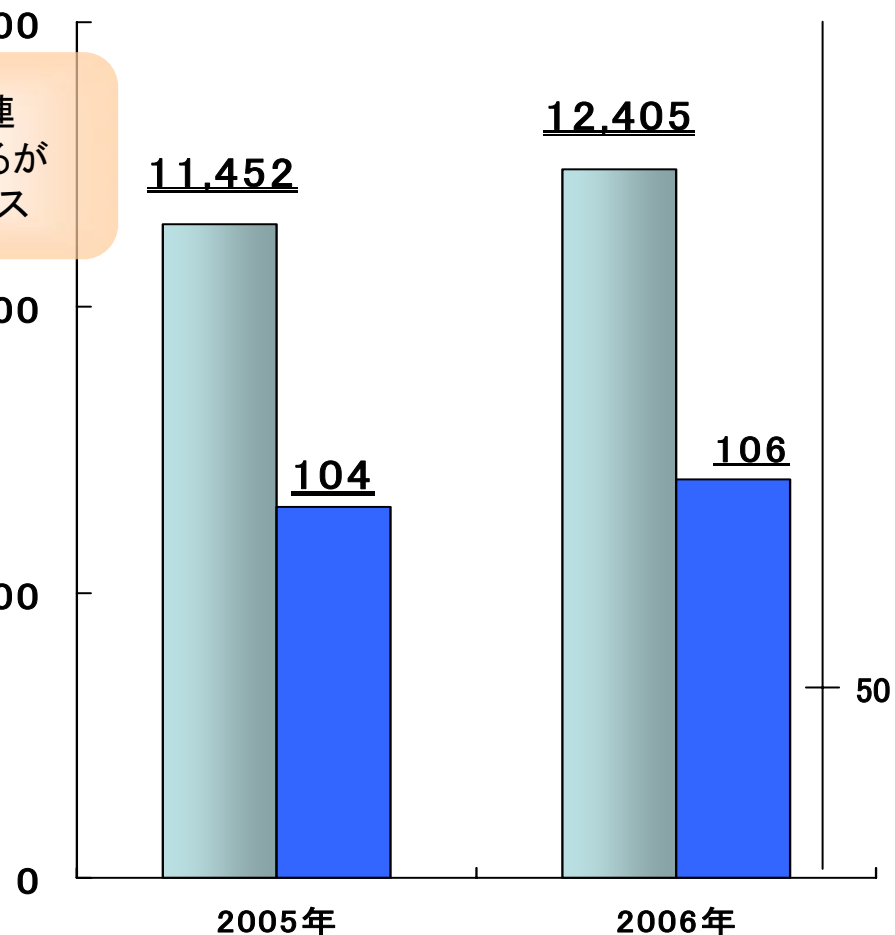
(単位:百万US\$)

欧州

(単位:百万US\$)



IPTリプルプレイ関連
機器が伸びつつあるが
予想よりスローペース



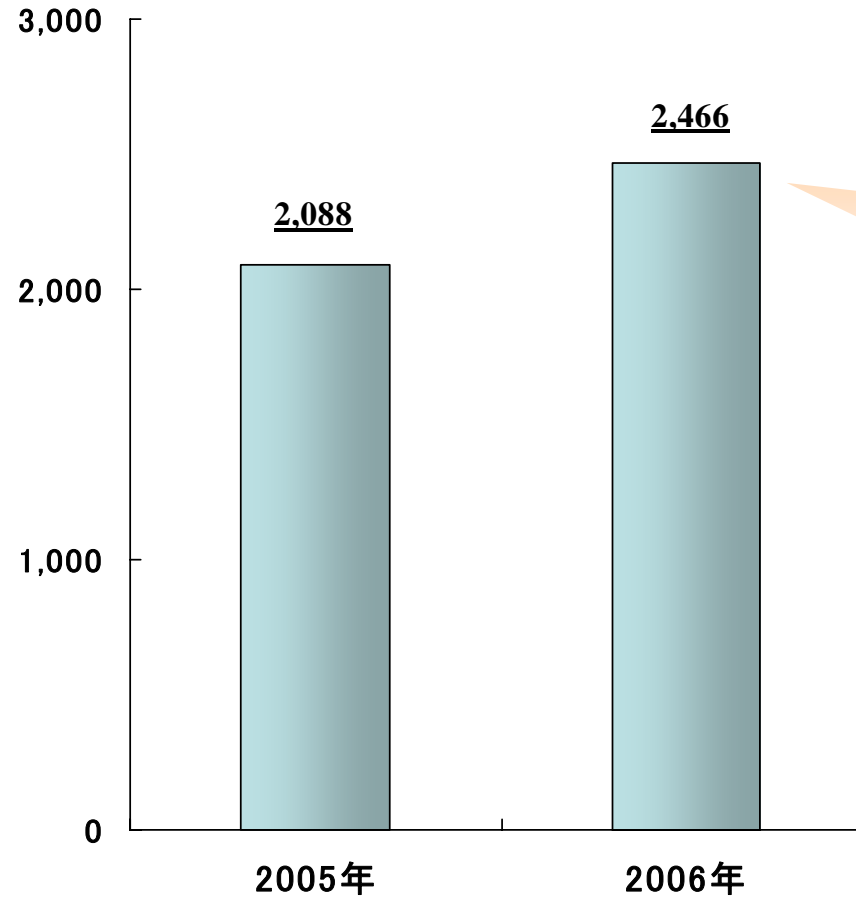
■ 売上高(日本) ■ 現地通貨ベース

■ 売上高(日本) ■ 現地通貨ベース

地域別概況と売上高

(単位:百万円)

アジア・オセアニア






ハイエンド・スイッチを中心
に法人向け機器の需要が伸び
売上げに寄与

販売費及び一般管理費の内訳

(単位:百万円)

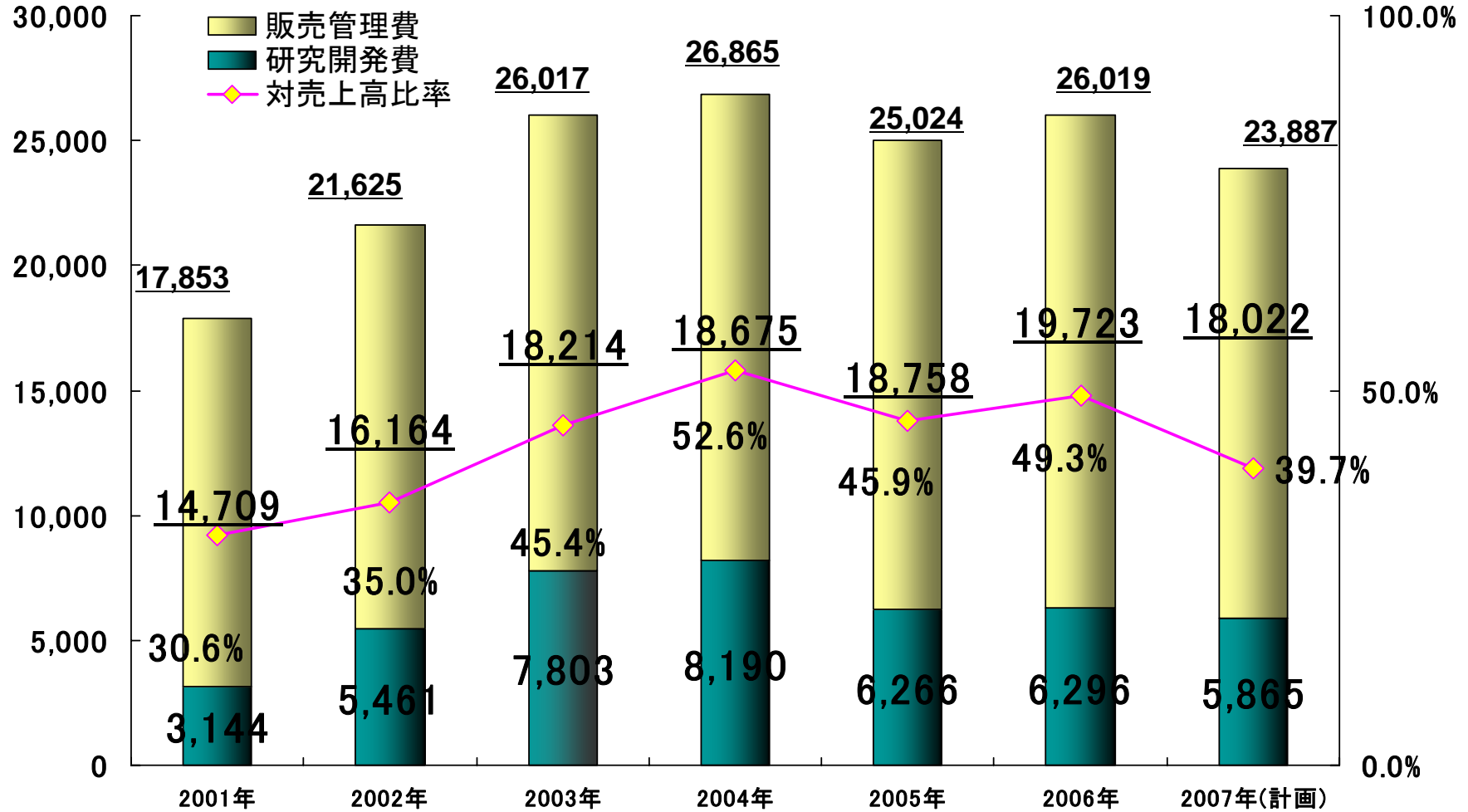
	2005年12月期	2006年12月期	2007年12月期 計画
販売費及び一般管理費	25,024	26,019	23,887
人件費	10,284	10,422	
研究開発費 (対売上高比率)	6,266 (11.5%)	6,296 (11.9%)	5,865 (9.7%)
その他営業費用	8,473	9,299	
人員数	2,959人	2,521人	

- 人件費は、給与、福利厚生費の増加により前年より1億4千万円増。
- 人員は2,959人(2005年12月末) → 2,521人(2006年12月末) 
- 研究開発費は、前年とほぼ横ばい 
- その他営業費用は、大型案件受注による外注費の増加、新ブランド製品(ワイヤレス、VoIP)のマーケティング費用増加、本社移転費用などが主な要因 

販売費及び一般管理費

(単位:百万円)

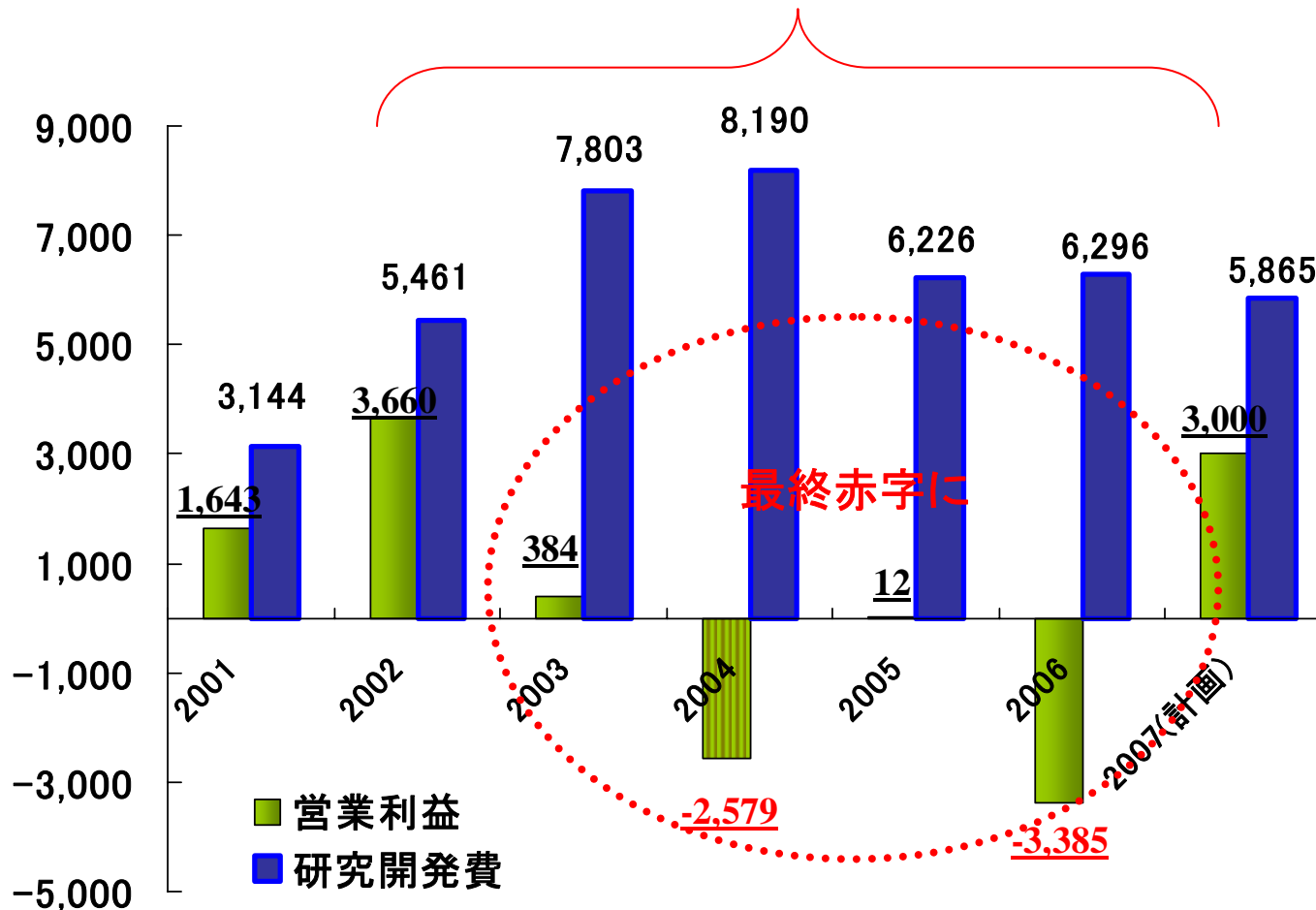
(単位:%)



営業利益/研究開発費の推移

(単位:百万円)

IPトリプルプレイ事業の準備(機器の開発、販売体制構築)に、5年間で200億円の戦略的投資



連結貸借対照表

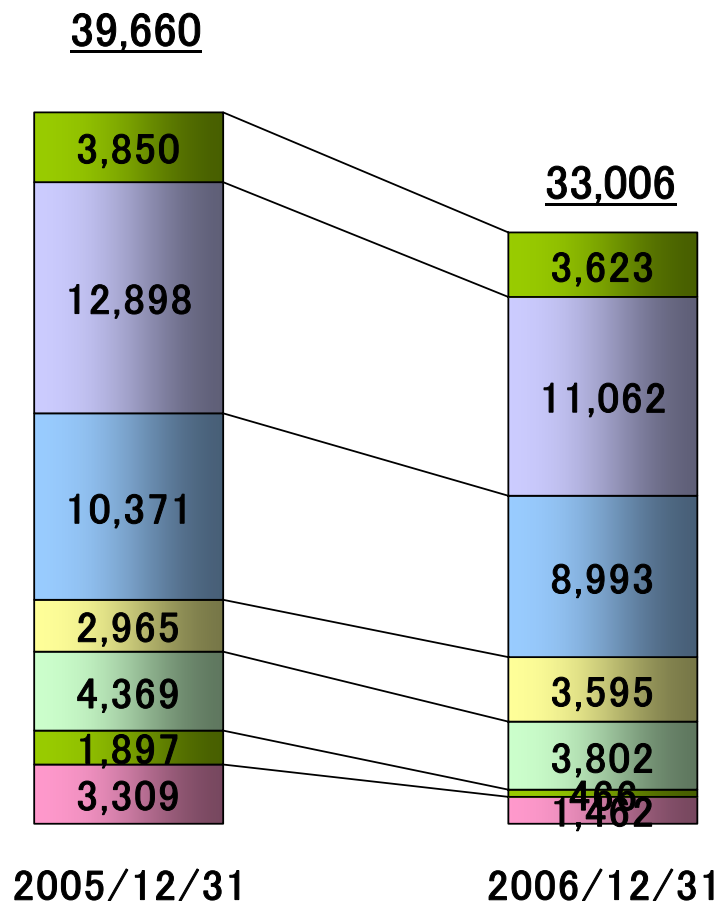
(単位:百万円)

(単位:百万円、切捨て)	05/12	06/12	増減額	(単位:百万円、切捨て)	05/12	06/12	増減額
流動資産	30,084	27,274	▲2,809	流動負債	22,491	18,300	▲4,191
現金及び預金	3,850	3,497	▲352	支払手形及び買掛金	6,385	5,855	▲530
受取手形及び売掛金	12,897	11,062	▲1,835	短期借入金	7,464	4,351	▲3,113
たな卸資産	10,371	8,993	▲1,377	一年以内返済予定の長期借入金	4,561	3,247	▲1,314
繰延税金資産	1,304	—	▲1,304	一年以内償還予定の社債	268	268	0
預け金	—	2,000	2,000	繰延税金負債	—	34	34
固定資産	9,575	5,731	▲3,844	固定負債	5,932	6,325	392
有形固定資産	4,368	3,802	▲566	社債	532	4,314	3,782
無形固定資産	1,897	466	▲1,430	長期借入金	4,756	1,326	▲3,430
投資その他の資産	3,309	1,462	▲1,847	純資産(少数株主持分・資本)	11,235	8,381	▲2,854
資産合計	39,660	33,006	▲6,653	負債及び純資産合計	39,660	33,006	▲6,653

- たな卸資産の減少:流通系代理店の戦略的活用効果の結果(ATパートナー制度)
- 繰延税金資産29億円(流動13億円、固定16億円)の減損実施
- 無形固定資産の減少:米国子会社株式(ATI)の評価引当金計上により、のれん代(連結調整勘定)の一括償却(10億円)・・・中間時に処理
- 預け金の20億円は社債発行時のエスクロー契約により拘束預金

資産の状況

(単位:百万円)



■ 現預金・有証現金同等物

■ 売上債権

■ 棚卸資産

■ その他流動資産

■ 有形固定資産

■ 無形固定資産

■ 投資その他の資産合計

1,835百万円減少
回転月数 : 2.8ヵ月 → 2.5ヵ月

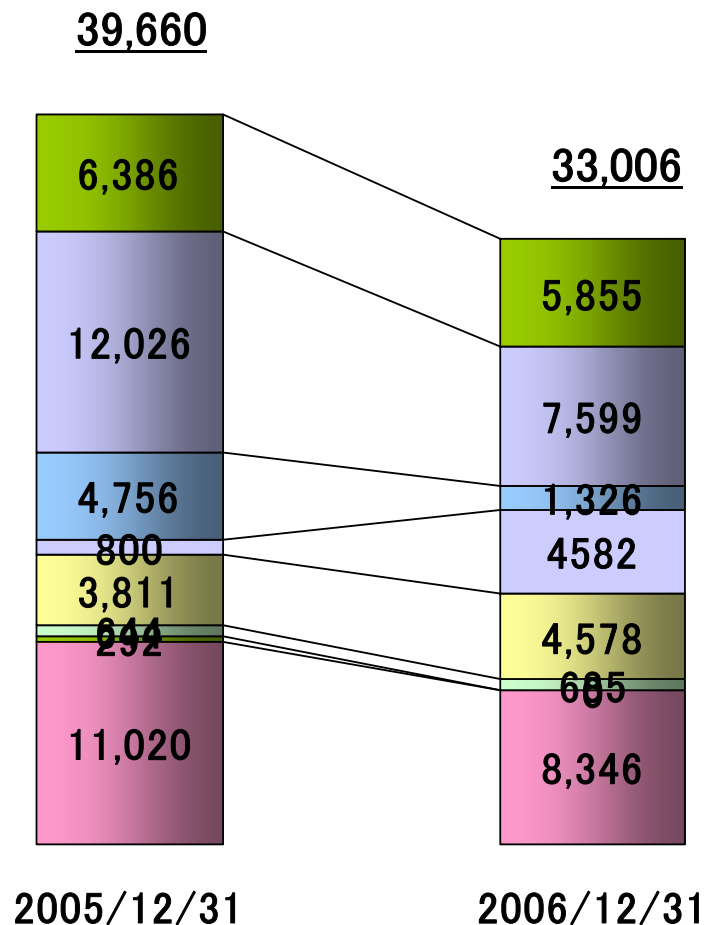
1,377百万円減少
回転率 : 2.8回 → 3.3回

1,430百万円減少
のれん償却1,013百万円他

1,847百万円減少
繰延税金資産減損1,563百万円他

負債・資本の状況

(単位:百万円)



■ 支払手形及び買掛金	530 百万円 減少
■ 短期借入金	4,427 百万円 減少
■ 長期借入金	3,430 百万円 減少
■ 社債	3,782 百万円 増加
■ その他流動負債	
■ その他固定負債等	
■ 少数株主持分	
■ 株主資本	当期純損失8,075百万円を計上したが、新株発行5,401百万円により株主資本は2,674百万円の減少に

資本勘定の動き

資本の部

(単位:百万円)

	2005年12月	2006年12月	増減
資本金	4,996	7,697	2,701
資本剰余金	7,127	9,828	2,701
利益剰余金	△1,091	△9,167	△8,076
その他有価証券評価差額	47	36	△11
為替勘定調整勘定	△124	△102	22
自己株式	△11	△12	△1
資本合計	11,020	8,346	△2,674
発行済株式数 (単位:千株)	85,543	109,356	23,813
自己資本比率 (%)	27.6	25.2	△2.4

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

(単位:百万円)	2005/12	2006/12
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲1,493	1,637
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲886	▲1,383
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,475	▲467
現金及び現金同等物に係る換算差額	80	▲593
現金及び現金同等物の増加額	176	▲789
現金及び現金同等物の期首残高	3,565	3,775
株式交換による現金及び現金同等物の増加額	49	—
現金及び現金同等物の期末残高	3,775	2,985

◆主要な内訳(単位:百万円)

・営業活動によるキャッシュ・フロー	
純損失	▲5,179
減価償却費	1,687
売上債権の減少	2,257
たな卸資産の減少	1,392
・投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得	▲873
無形固定資産の取得	▲254
・財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純減少額	▲3,173
長期借入金の返済	▲12,468
社債の発行	7,100
株式の発行	2,337



2007年計画

2007年計画

(単位:百万円)

	2007年計画	2006年実績	増減(%)
売上高	60,000	52,729	13.7%
（ネットワーク機器事業売上高）	50,700	47,378	7.0%
（IPTリプルプレイ事業売上高）	9,400	5,350	75.7%
売上総利益	27,000	22,633	19.2%
売上総利益率	45.0%	42.9%	2.1pts
研究開発費	5,865	6,296	-6.8%
その他販管費	18,135	19,721	-8.0%
営業利益	3,000	△3,385	-
経常利益	2,700	△3,345	-
税引前利益	2,500	△5,179	-
当期利益	1,700	△8,075	-
EPS（円）	15.5	△84.8	
為替レート(円/USD)	115	115	

参)2006レート実績:MFG社内レート(前月TTM avr)

2007年計画

ネットワーク 機器事業

お客様のニーズに一早く応え、価格、技術に優れた製品をタイミングよく開発/販売することを活動の柱にします。

特にギガビットイーサネット、10ギガビットイーサネットへの移行に伴う市場獲得を考え、高速ネットワーク向け製品群の充実をはかり、オール・ギガ・オフィスネットワークを推進する。

IPトリプルプレイ 事業

IPトリプルプレイ事業の準備(機器の開発、販売体制構築)に、2002年以降の5年間で200億円の戦略的投資を行ってきました。そして現在、世界各国のユーザーに真のIPトリプルプレイが提供されはじめています。

特に欧米で大手システムインテグレーターとの強固な関係を築き、IPトリプルプレイ市場拡大へ向け活動します。
また、米軍基地へのIPTV等サービス提供拡大

重点対策

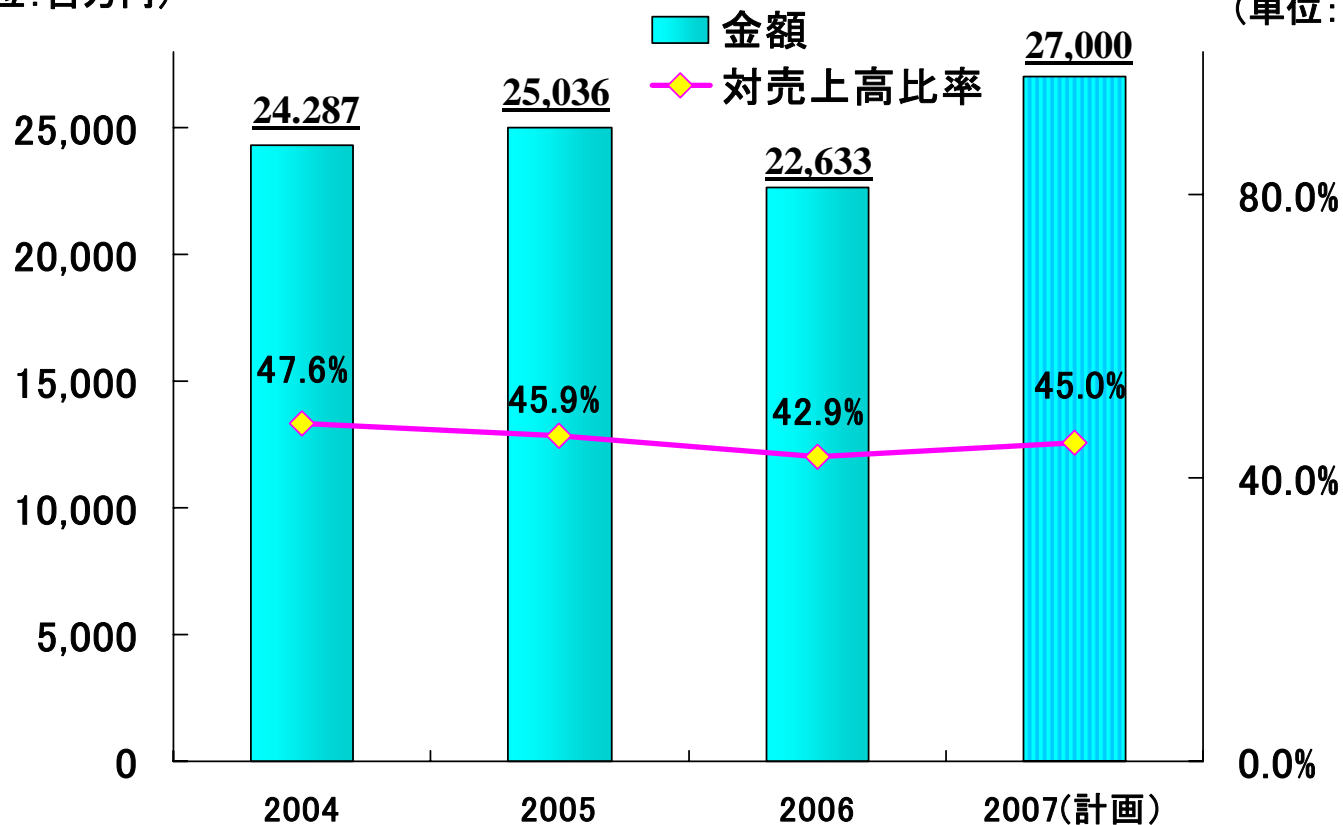
- 製品原価の低減
- 販管費の圧縮
- 開発投資の抑制

※開発投資に関しては、現時点でIPトリプルプレイを提供するための機器開発および販売体制が整ったため抑制します。

2007年計画 売上総利益

(単位:百万円)

(単位:%)

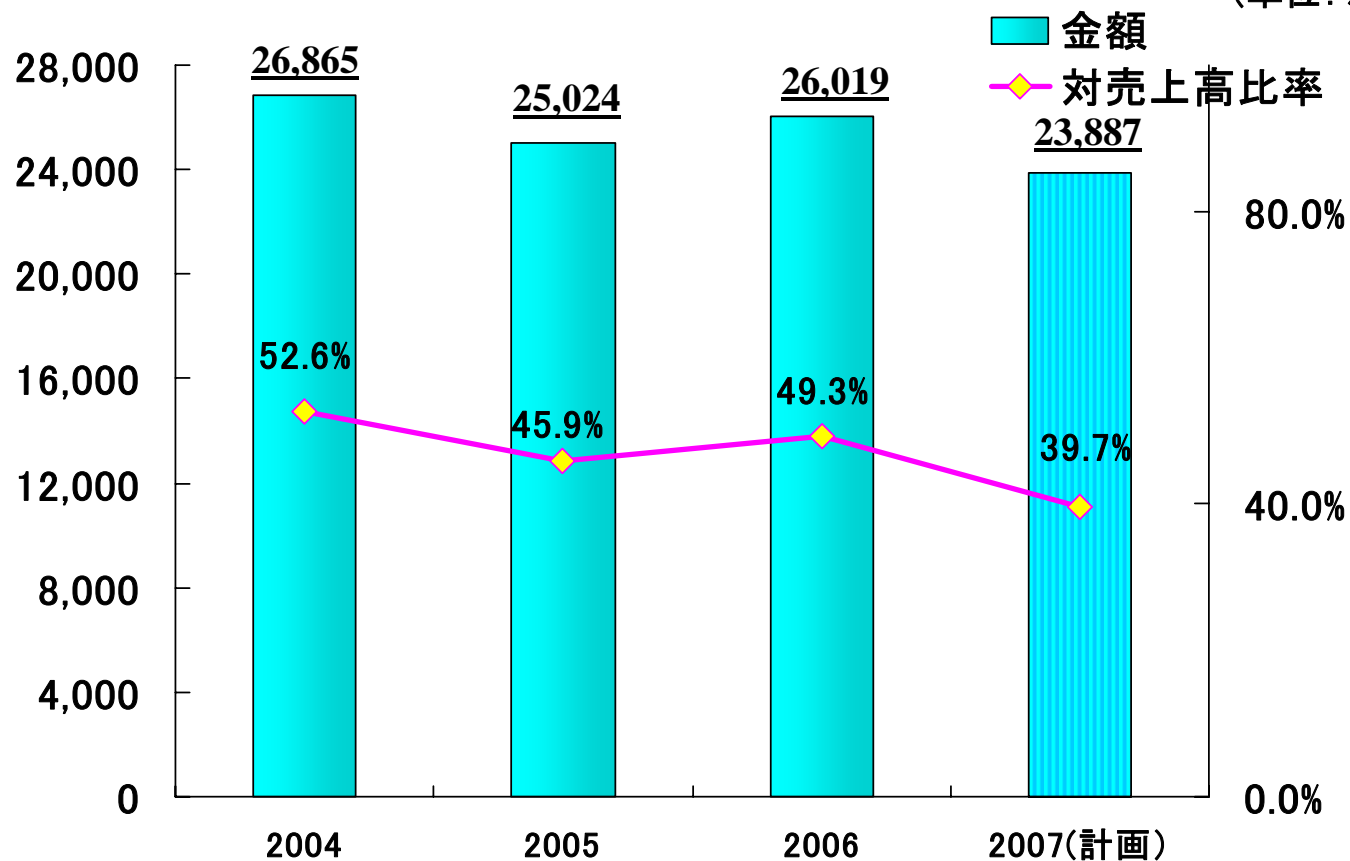


2007年計画

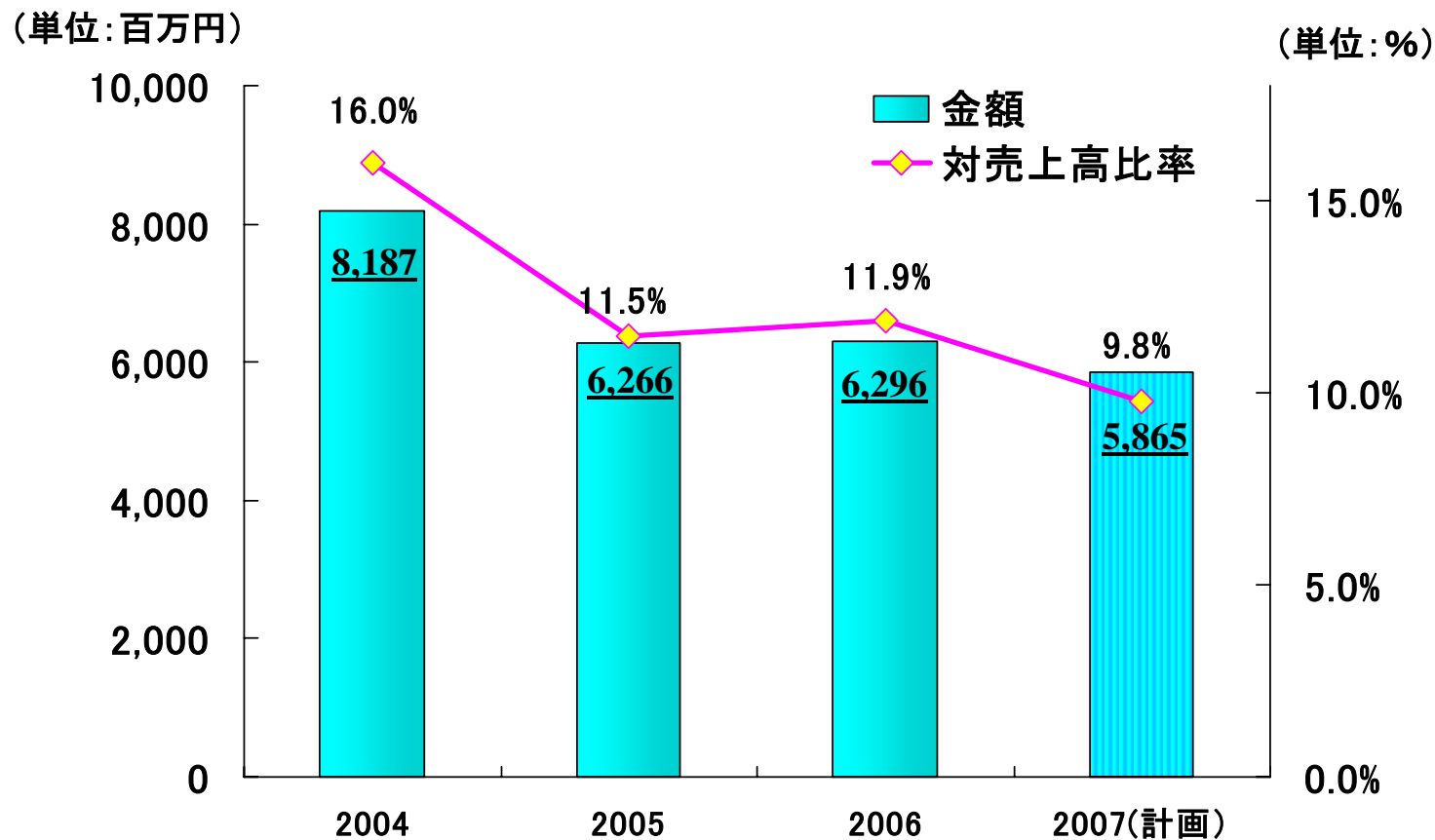
販売費及び一般管理費

(単位:百万円)

(単位:%)



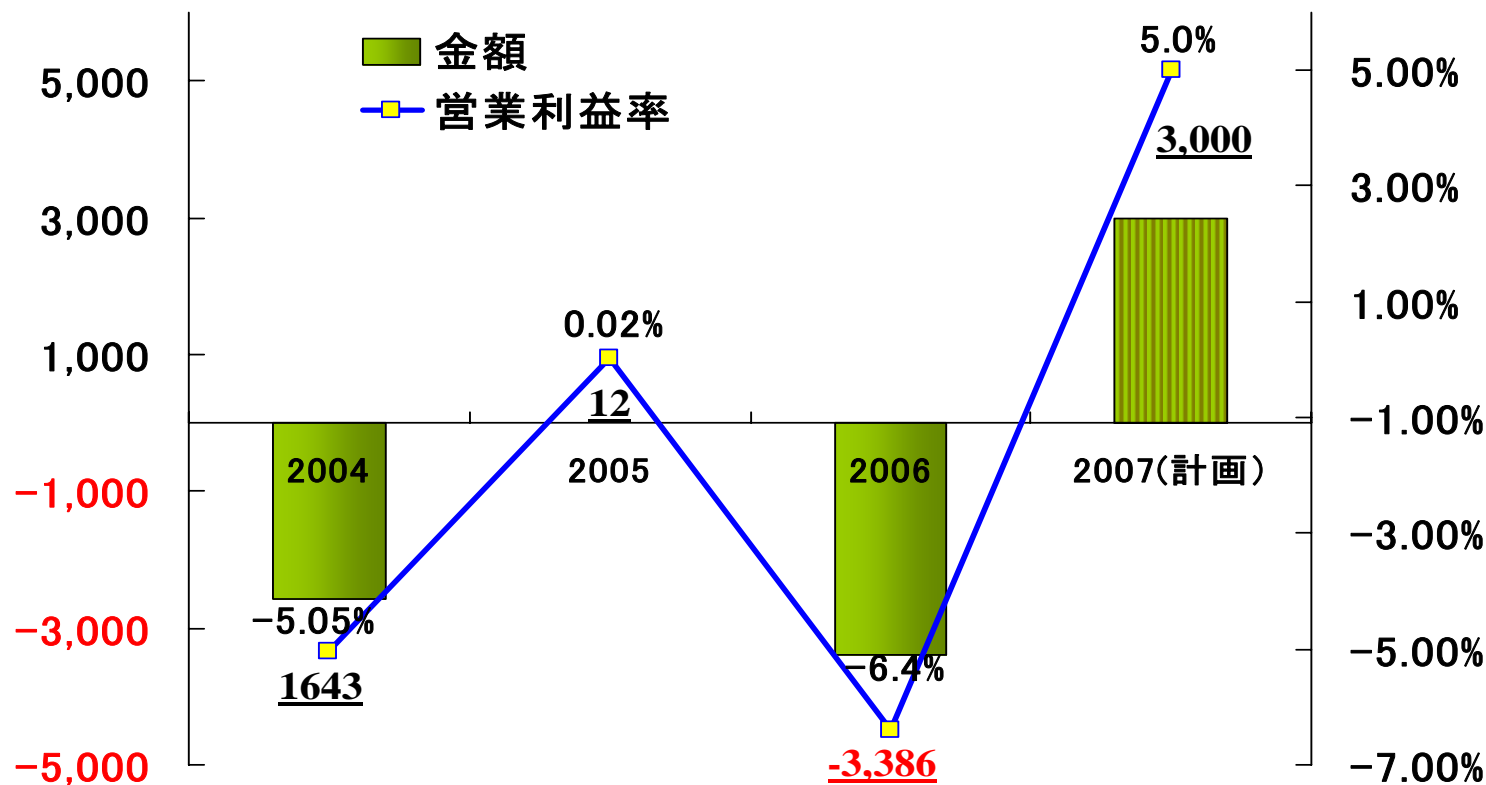
2007年計画 研究開発費



2007年計画 営業利益率の推移

(単位:百万円)

(営業利益率:%)



中期経営計画

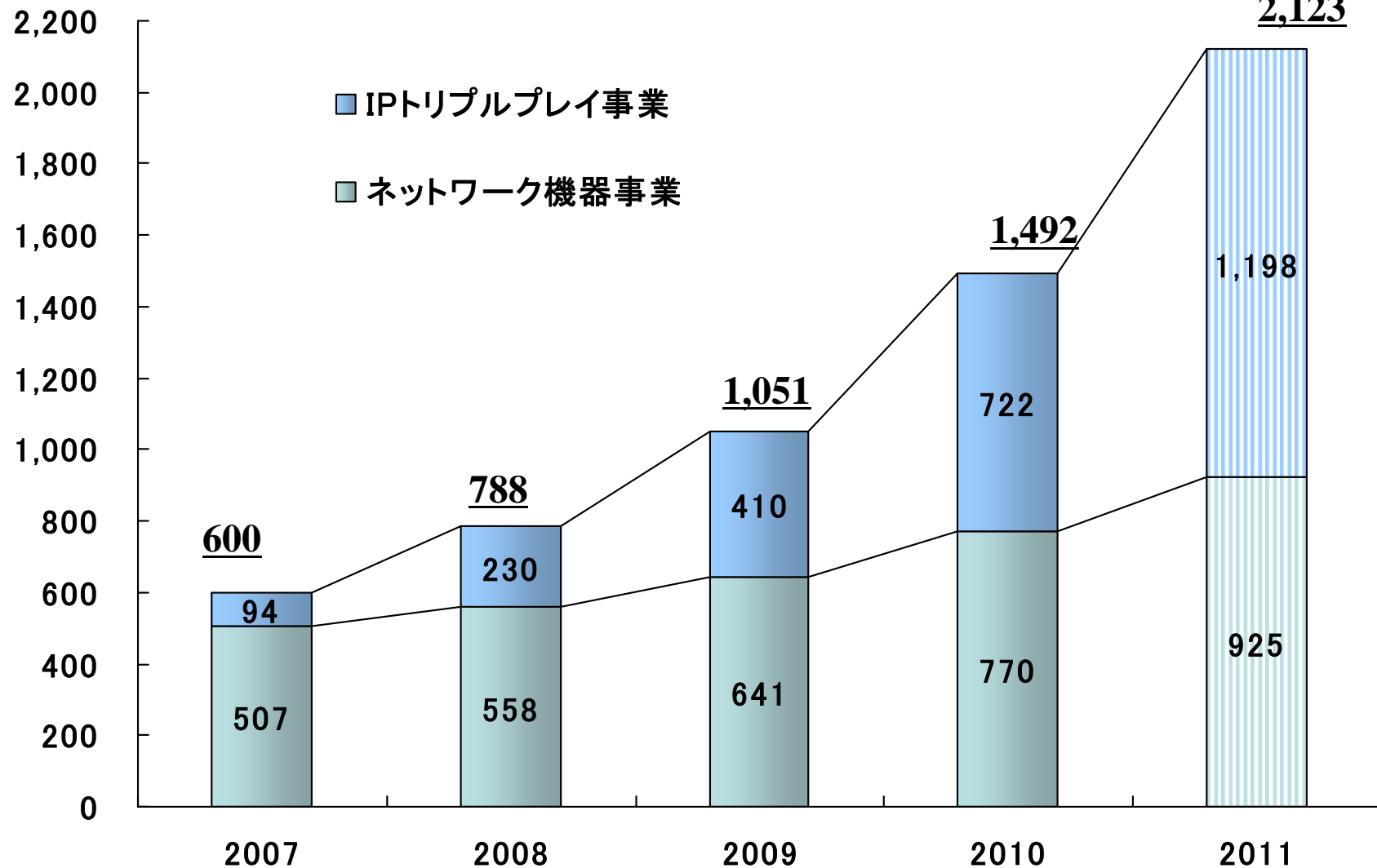
中期経営計画目標数値

単位：億円

	2007	2008	2009	2010	2011
売上高	600	788	1,051	1,492	2,123
ネットワーク機器事業	507	558	641	770	925
IPトリプルプレイ事業	94	230	410	722	1,198
粗利益	270	365	492	710	1,047
粗利益率	45%	46%	47%	48%	49%
販売管理費	240	266	302	339	376
内(開発投資)	59	70	83	113	145
営業利益	30	99	190	371	671
営業利益率	5%	13%	18%	25%	32%

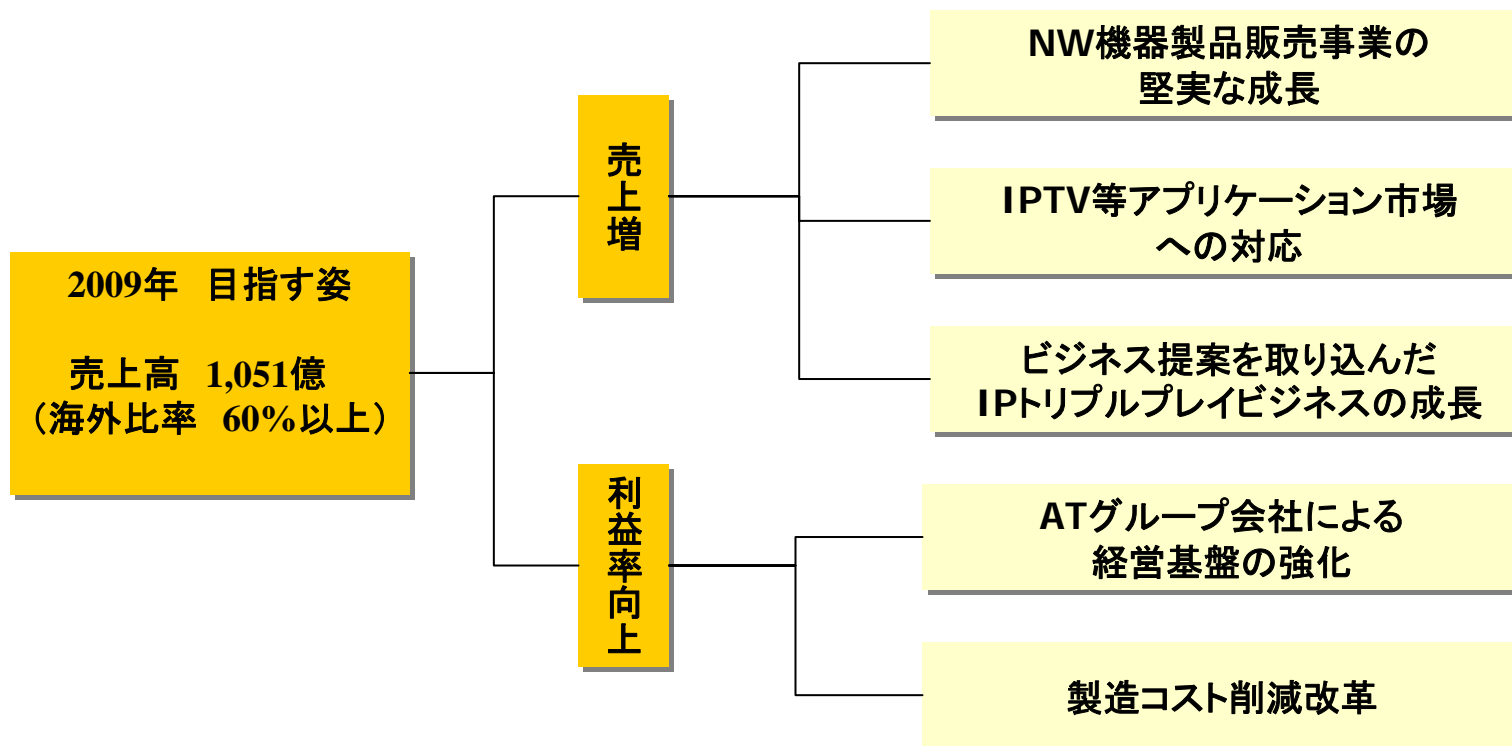
事業別売上計画

(単位:億円)



将来像と経営方針

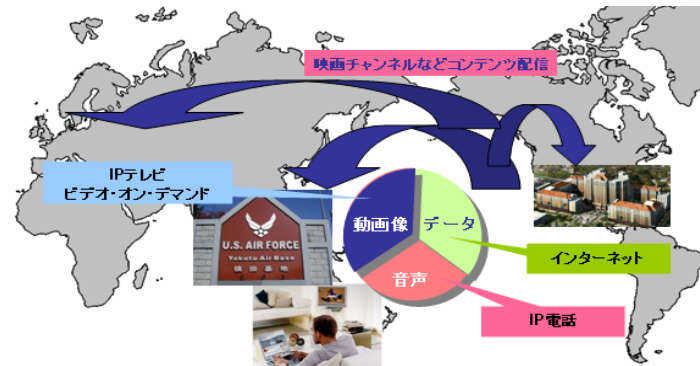
2009年にグループ売上高1,051億



事業変革と将来像

市場拡大と新たな事業モデルで成長する企業へ

世界の加入者向けに向けIPTVなど
IP上でのサービス提供会社へ発展



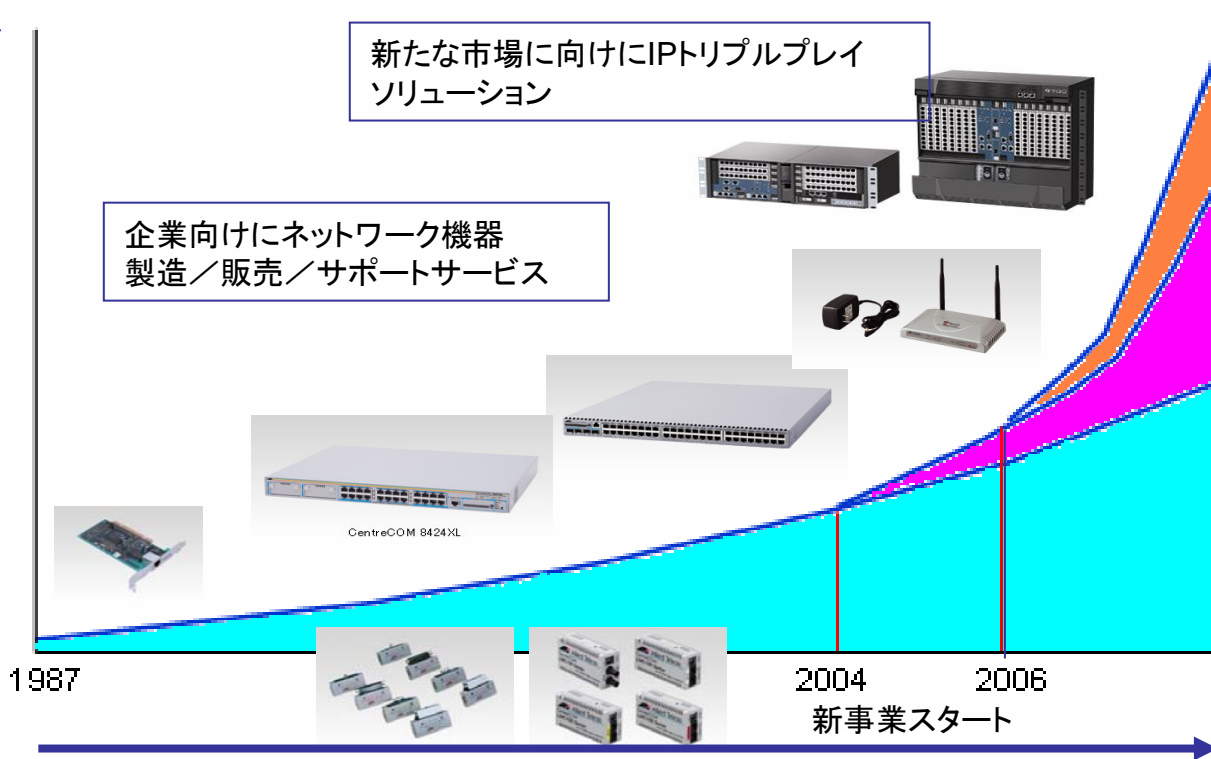
新たな市場に向けにIPTトリプルプレイ
ソリューション

企業向けにネットワーク機器
製造／販売／サポートサービス

IP-GSP
(グローバル・サービス・プロバイダー)
IPTトリプルプレイ事業

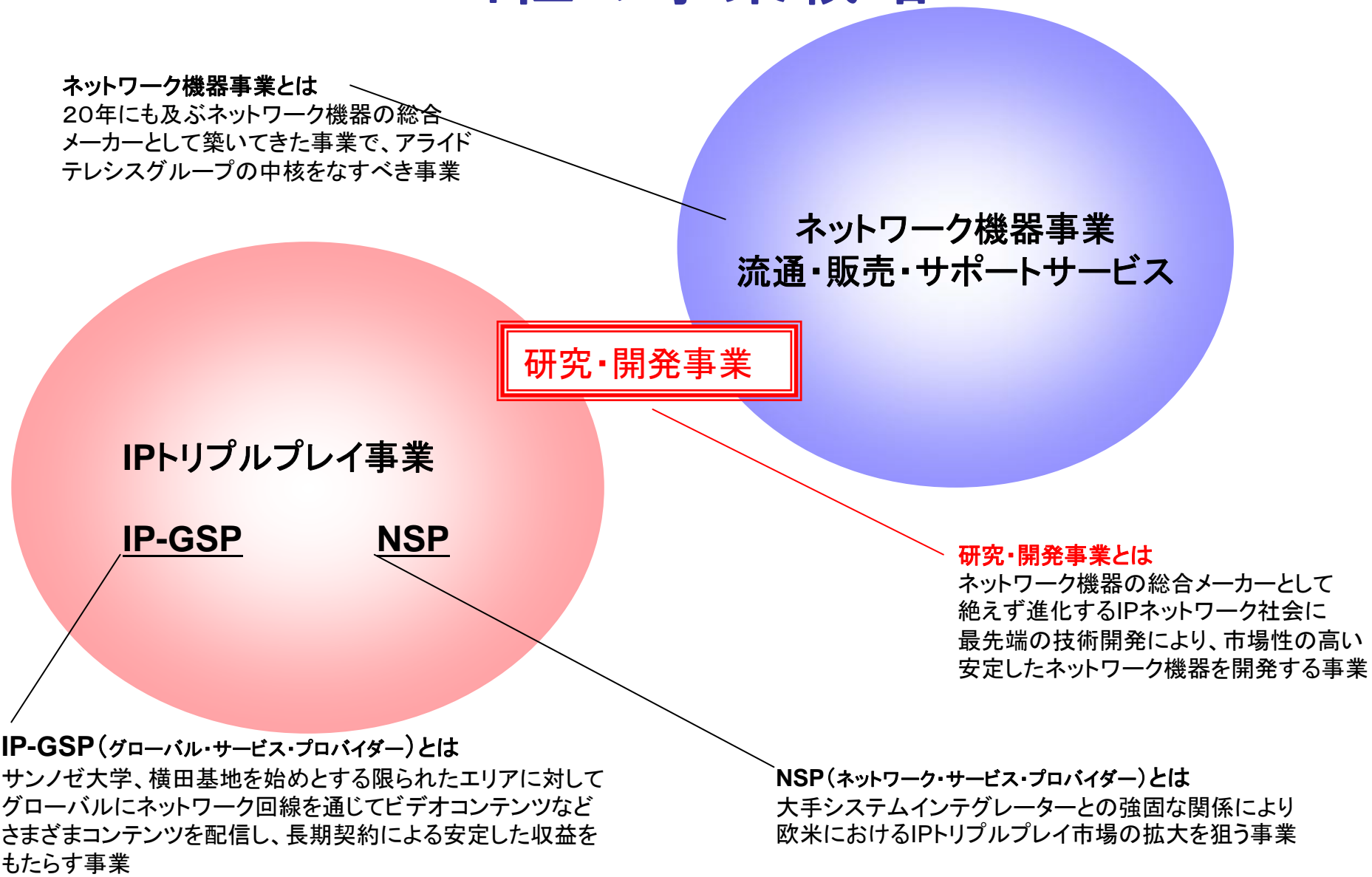
NSP
(ネットワーク・サービス・プロバイダー)
IPTトリプルプレイ事業

ネットワーク機器事業
流通・販売・サポートサービス



ネットワーク市場を見据え先端的に開発・投資をして20年と伸びゆく将来

当社の事業戦略



ネットワーク機器事業 流通・販売・サポートサービス



1987年日本におけるネットワーク機器の総合メーカーとして築いてきた流通網、システムインテグレーターへの販売網により、年間100万台以上の機器を販売。アライドテレスグループの中核をなすべき事業

流通パートナー



大手流通パートナー提携

戦略パートナー



150社以上との販売提携

20年間で100万社以上のエンドユーザへ販売

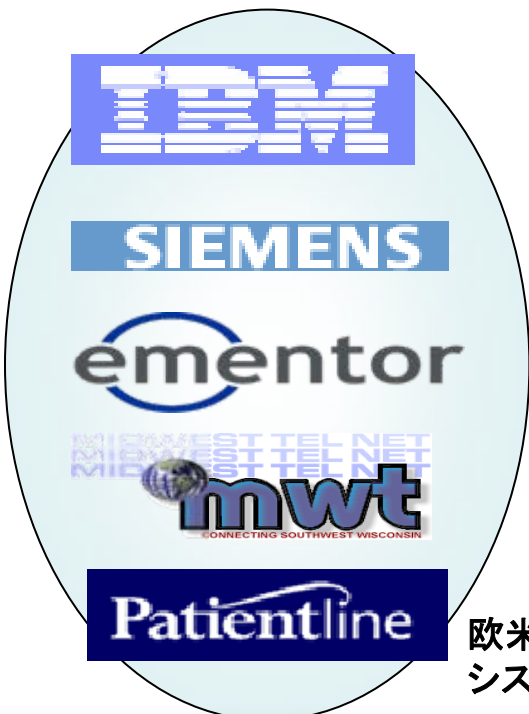


初期投資が小規模で、安定したサービスネットワーク環境を実現

IBMをはじめとする欧米の大手システムインテグレータとともにIPトリプルプレイ市場拡大へ向け活動し、2010年には総額でおよそ200億ドルの市場規模と予想される市場に、いち早くリーチしマーケットリーダーとしての地位を築くべく拡大中。

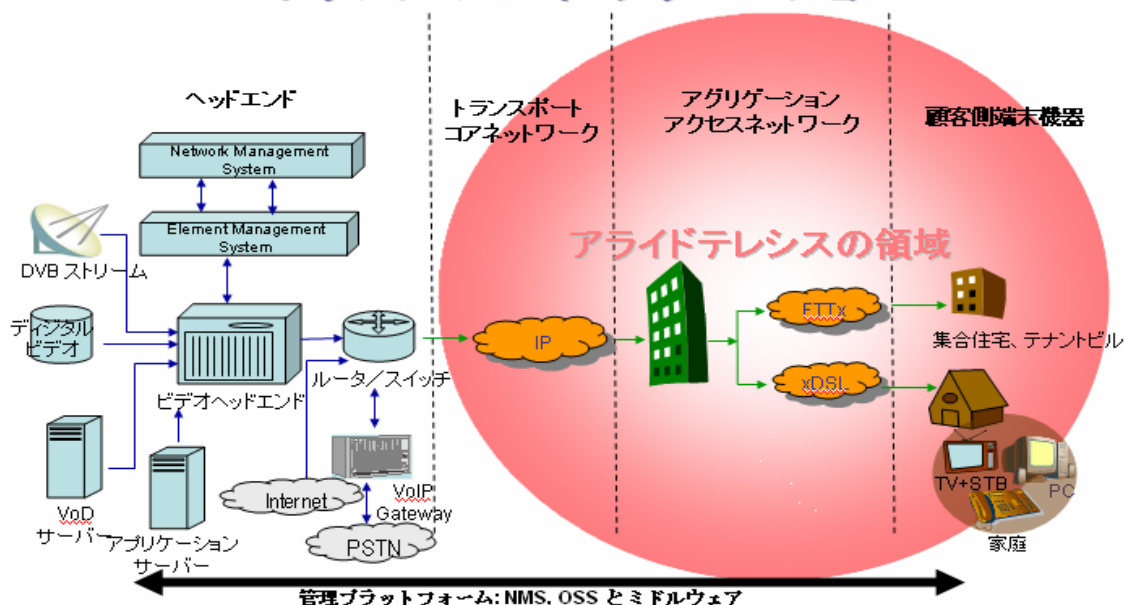
IPトリプルプレイ・サービスの実現に必要とされる技術

- 高速なバックボーン of 構築
- 拡張性の高いアクセス網 of 構築
- 通信品質を保持する信頼性
- QoS
- 映像伝送の最適化
- 運用管理の容易性



欧米での多数のシステムインテグレータ

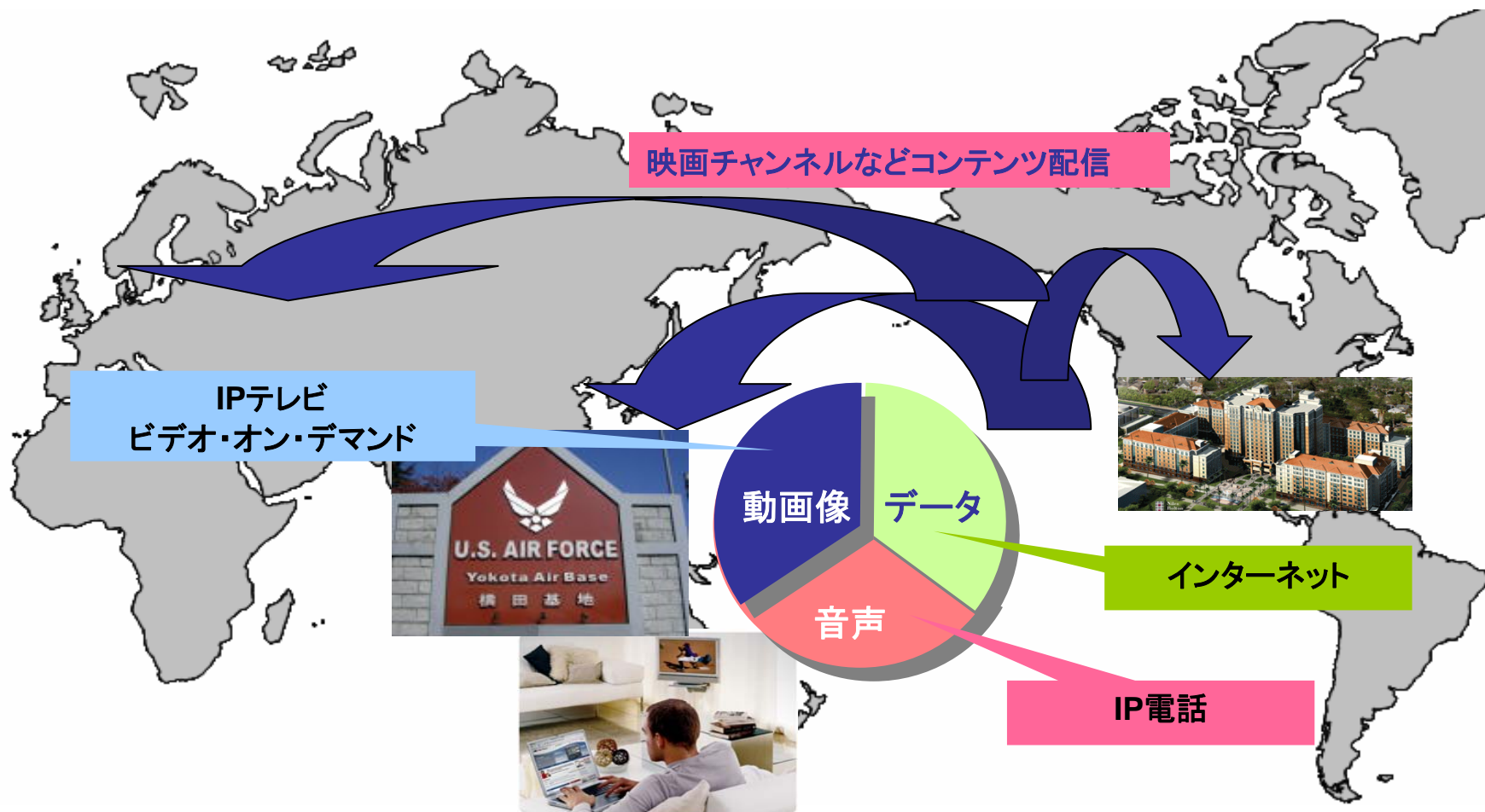
アライドテレシスグループのIPトリプルプレイ・ソリューション



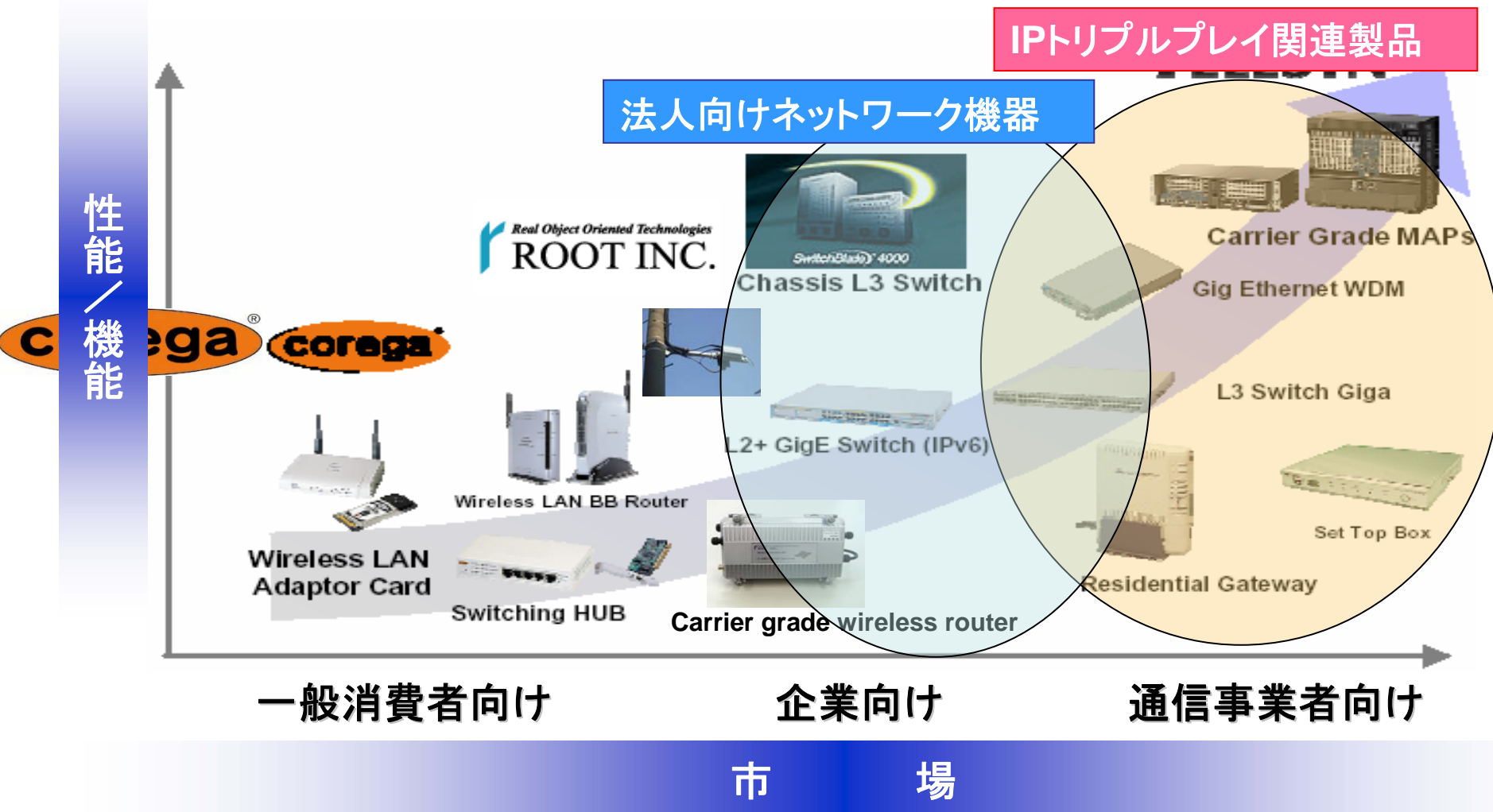
IPトリプルプレイ事業

IP-GSP(グローバル・サービス・プロバイダー)

サンノゼ州立大学、横田基地を始めとする限られたエリアに対して、ネットワーク回線を通じて**グローバルにビデオコンテンツなどさまざまコンテンツを配信**し、長期契約を締結することにより年間数億円の売り上げを長期的に確保
市場は世界ブロードバンド配信地域へ



ターゲット市場と製品





Allied Telesis Holdings

アライドテレシスホールディングス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-22-11 第2TOCビル
IR部

ir@allied-telesis.co.jp

Tel:03-5437-6007 Fax:03-5437-6735

<http://www.at-global.com/>

資料取扱いの注意：本資料に記載されている、将来の当社業績に関する見通し事業計画及び戦略等は、現時点で知りうる情報をもとに構築されたものです。当社の属する情報通信・ネットワーク関連機器市場は、テクノロジーの変化のスピードが速く、競争も激しい上に、世界経済、為替など当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な要因があります。したがって、実際の業績は、これら見通しとは大きく異なる可能性があることをお含みおきください。なお本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断で行われるようお願いいたします。